

# Mac 版 VMware View Client ヘルプ

2012 年 5 月  
Mac 版 View Client

このドキュメントは新しいエディションに置き換わるまで、ここで書いてある各製品と後続のすべてのバージョンをサポートします。このドキュメントの最新版をチェックするには、<http://www.vmware.com/jp/support/pubs> を参照してください。

JA--00

vmware®

最新の技術ドキュメントは VMware の Web サイト (<http://www.vmware.com/jp/support/>) にあります  
VMware の Web サイトでは最新の製品アップデートも提供されています。

このドキュメントに関するご意見およびご感想がある場合は、[docfeedback@vmware.com](mailto:docfeedback@vmware.com) までお送りください。

Copyright © 2010–2012 VMware, Inc. 無断転載を禁ず。本製品は、米国著作権法および米国知的財産法ならびに国際著作権法および国際知的財産法により保護されています。VMware 製品には、<http://www.vmware.com/go/patents-jp> に列記されている 1 つ以上の特許が適用されます。

VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

**VMware, Inc.**  
3401 Hillview Ave.  
Palo Alto, CA 94304  
[www.vmware.com](http://www.vmware.com)

**ヴァイエムウェア株式会社**  
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5  
浜松町スクエア 13F  
[www.vmware.com/jp](http://www.vmware.com/jp)

# 目次

- 1 View デスクトップへのログイン 5
- 2 Dock への VMware View Client の追加 7
- 3 View Client について 9
- 4 View デスクトップへのログイン 11
- 5 View Client の証明書チェック モード 13
- 6 Dock への VMware View Client の追加 15
- 7 デスクトップの切り替え 17
- 8 デスクトップからのログオフまたは切断 19
- 9 ホーム画面からの View サーバショートカットの削除 21
- 10 デスクトップのロールバック 23
- 11 View Client のトラブルシューティング 25
  - デスクトップのリセット 25
  - View Client のアンインストール 26
- インデックス 27



# View デスクトップへのログイン

View 接続サーバにログインした後、使用を許可されている View デスクトップに接続できます。

## 開始する前に

View 管理者から以下の情報を取得します：

- VPN（仮想プライベート ネットワーク）接続をオンにするかどうかに関する指示。
- VMware View server への接続に使用するサーバ名。
- ポートが 443 ではない場合、VMware View server への接続に使用するポート番号。
- Active Directory ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコードなどのログインに必要な認証情報。
- ログインするためのドメイン名。

管理者が許可している場合、View server から提示される SSL 証明書について、証明書確認モードを構成できます。[第 5 章 \[View Client の証明書チェック モード \(P. 13\)\]](#) を参照してください。

## 手順

- 1 VPN 接続が必要な場合、VPN をオンにしてください。
- 2 [[アプリケーション]] フォルダで、[[VMware View Client]] をダブルクリックします。
- 3 View Client ホーム画面上で、[[サーバの追加]] アイコンをクリックします。
- 4 必要に応じてサーバ名とポート番号を入力し、[[続行]] をクリックします。

**view.company.com:1443** は、デフォルト以外のポートを使用した一例です。

- 5 RSA SecurID の認証情報または RADIUS の認証証明書の入力を求められた場合、ユーザー名とパスコードを入力して [[続行]] をクリックします。
- 6 ユーザー名とパスワードを入力し、ドメインを選択して、[[続行]] をクリックします。

ログイン ダイアログ ボックスが表示される前に、確認する必要があることを知らせるメッセージが表示される場合があります。

- 7 デスクトップセキュリティ インジケーターが赤に変わり、警告メッセージが表示されたら、プロンプトに応答します。  
通常、この警告は View 接続サーバが証明書サムプリントをクライアントに送信しなかったことを示します。サムプリントは証明書公開鍵のハッシュであり、公開鍵を省略したものとして使用されます。View 接続サーバ 4.6.1、5.0.1 以降のバージョンは、サムプリント情報を送信しますが、以前のバージョンではこれを実行しません。
- 8 (オプション) 使用する表示プロトコルを選択します。

デフォルトは、[PCoIP] です。代わりに Microsoft RDP を使用する場合、デスクトップ名の下にある [[PCoIP]] をクリックして切り替え、[[RDP]] を選択します。

- 9 View デスクトップのショートカットをダブルクリックして、接続します。

## Dock への VMware View Client の追加

---

他のアプリケーションと同じような操作で、View Client を Dock に追加できます。

### 手順

- 1 [[アプリケーション]] フォルダで、[VMware View Client] をダブルクリックします。
- 2 コンテキストメニューが表示されるまで、[VMware View Client] アイコンをクリックしたままにします。
- 3 [オプション] - [ドックに保持] を選択します。

VMware View Client を終了するときに、アプリケーションのショートカットが Dock に残ります。





## View Client について

---

VMware® View™ Client を使用すると、仮想デスクトップに接続することができます。

これらのヘルプトピックでは、仮想デスクトップへの接続および使用手順について説明します。仮想デスクトップおよび仮想デスクトップにインストールされたソフトウェアについては、View 管理者へお問い合わせください。



## View デスクトップへのログイン

View 接続サーバにログインした後、使用を許可されている View デスクトップに接続できます。

### 開始する前に

View 管理者から以下の情報を取得します：

- VPN（仮想プライベート ネットワーク）接続をオンにするかどうかに関する指示。
- VMware View server への接続に使用するサーバ名。
- ポートが 443 ではない場合、VMware View server への接続に使用するポート番号。
- Active Directory ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコードなどのログインに必要な認証情報。
- ログインするためのドメイン名。

管理者が許可している場合、View server から提示される SSL 証明書について、証明書確認モードを構成できます。[第 5 章 \[View Client の証明書チェック モード \(P. 13\)\]](#) を参照してください。

### 手順

- 1 VPN 接続が必要な場合、VPN をオンにしてください。
- 2 [[アプリケーション]] フォルダで、[[VMware View Client]] をダブルクリックします。
- 3 View Client ホーム画面上で、[[サーバの追加]] アイコンをクリックします。
- 4 必要に応じてサーバ名とポート番号を入力し、[[続行]] をクリックします。  
**view.company.com:1443** は、デフォルト以外のポートを使用した一例です。
- 5 RSA SecurID の認証情報または RADIUS の認証証明書の入力を求められた場合、ユーザー名とパスコードを入力して [[続行]] をクリックします。
- 6 ユーザー名とパスワードを入力し、ドメインを選択して、[[続行]] をクリックします。  
ログイン ダイアログ ボックスが表示される前に、確認する必要があることを知らせるメッセージが表示される場合があります。
- 7 デスクトップセキュリティ インジケーターが赤に変わり、警告メッセージが表示されたら、プロンプトに応答します。  
通常、この警告は View 接続サーバが証明書サムプリントをクライアントに送信しなかったことを示します。サムプリントは証明書公開鍵のハッシュであり、公開鍵を省略したものとして使用されます。View 接続サーバ 4.6.1、5.0.1 以降のバージョンは、サムプリント情報を送信しますが、以前のバージョンではこれを実行しません。
- 8 (オプション) 使用する表示プロトコルを選択します。  
デフォルトは、[PCoIP] です。代わりに Microsoft RDP を使用する場合、デスクトップ名の下にある [[PCoIP]] をクリックして切り替え、[[RDP]] を選択します。

- 9 View デスクトップのショートカットをダブルクリックして、接続します。

## View Client の証明書チェック モード

管理者は、またときにはエンド ユーザーは、サーバの証明書チェックが失敗した場合にクライアント接続を拒否するかどうかを設定できます。

証明書確認は、View 接続サーバと View Client 間の SSL 接続に対して実行されます。証明書検査では、次のような検査が行われます。

- 証明書の目的は、送信側の ID 検証やサーバ通信の暗号化以外にあるか。つまり、証明書のタイプは正しいか。
- 証明書は期限切れになっているか、また有効なのは未来のみか。つまり、証明書はコンピュータの時刻に応じて有効になっているか。
- 証明書上の共通名は、それを送信するサーバのホスト名と一致しているか。ロード バランサが View Client をあるサーバにリダイレクトする際に、証明書が View Client に入力したホスト名と一致しない場合、不一致が発生する可能性があります。クライアントにホスト名ではなく IP アドレスを入力した場合でも、不一致の原因となる可能性があります。
- 不明なまたは信頼されていない証明機関 (CA) によって署名された証明書か。自己署名された証明書は、信頼されていない CA の証明書タイプの 1 つです。

チェックをパスするには、証明書のトラスト チェーンが、デバイスのローカル証明書ストアでルートになっている必要があります。

サーバ証明書を提示するほかにも、バージョン 4.6.1 および 5.0.1 以降の View 接続サーバは View Client に証明書のサムプリントも送信します。サムプリントは証明書公開鍵のハッシュであり、公開鍵を省略したものとして使用されません。View server がサムプリントを送信しない場合、接続が信頼されていないことを知らせる警告が表示されます。

管理者が許可している場合、証明書確認モードを設定することができます。[Finder] メニューバーから [[VMware View Client]] - [[環境設定]] を選択します。選択肢は次の 3 つです。

- [[信頼が確認されていないサーバには絶対に接続しない]]。証明書の確認に失敗した場合、クライアントはサーバに接続できなくなります。失敗したチェックは、エラー メッセージに一覧表示されます。
- [[信頼されていないサーバに接続する前に警告する]]。サーバが自己署名証明書を使用していることが原因で、証明書の確認に失敗した場合、[[続行]] をクリックして警告を無視することができます。自己署名証明書の場合、証明書名は View Client に入力した View 接続サーバ名と一致する必要はありません。
- [[サーバ ID 証明書を検証しない]]。この設定は、証明書チェックは View によって一切実行されないことを意味します。

証明書確認モードが [[警告]] に設定されている場合でも、自己署名証明書を使用する View 接続サーバインスタンスに接続することができます。



## Dock への VMware View Client の追加

---

他のアプリケーションと同じような操作で、View Client を Dock に追加できます。

### 手順

- 1 [[アプリケーション]] フォルダで、[VMware View Client] をダブルクリックします。
- 2 コンテキストメニューが表示されるまで、[VMware View Client] アイコンをクリックしたままにします。
- 3 [オプション] - [ドックに保持] を選択します。

VMware View Client を終了するときに、アプリケーションのショートカットが Dock に残ります。





## デスクトップの切り替え

---

デスクトップに接続している場合に、別のデスクトップに切り替えることができます。

### 手順

- ◆ 同じサーバ上、または異なるサーバから View デスクトップを選択します。

オプション	操作
同じサーバの異なる View デスクトップを選択する	ツールバーで [[切断]] ボタンをクリックするか、[[デスクトップ]] - [[切断]] を Finder メニューバーで選択します。
異なるサーバの View デスクトップを選択する	ツールバーの右側の [[別のサーバを選択]] ボタンをクリックします。



## デスクトップからのログオフまたは切断

ログオフせずに View デスクトップから切断すると、アプリケーションは開いたままになります。

View デスクトップに接続していないときに、最初に接続しなくてもログオフできます。この機能を使用すると、デスクトップに <Ctrl> + <Alt> + <Del> を送信してから [[ログオフ]] をクリックするのと同じ結果になります。

**注意** Windows のキーの組み合わせ <Ctrl> + <Alt> + <Del> は、View デスクトップではサポートしていません。<Ctrl> + <Alt> + <Del> の代わりに、メニューバーから [デスクトップ] - [Ctrl+Alt+Del の送信] を選択することもできます。

または、Apple のキーボードで <Fn> + <Control> + <Option> + <Delete> を押します。

### 手順

- ログオフせずに切断する。

オプション	操作
View Client も終了する	ウィンドウの隅にある [ [閉じる] ] ボタンをクリックするか、[Finder] メニューバーから [[ファイル]] - [[閉じる]] を選択します。
同じサーバの異なる View デスクトップを選択する	ツールバーで [[切断]] ボタンをクリックするか、[[デスクトップ]] - [[切断]] を Finder メニューバーで選択します。
異なるサーバの View デスクトップを選択する	ツールバーの右側の [ [別のサーバを選択] ] ボタンをクリックします。

**注意** View 管理者は、切断された時点で自動的にログオフするようにデスクトップを設定できます。その場合、デスクトップで開いているプログラムは停止します。

- ログオフして切断する。

オプション	操作
デスクトップのオペレーティングシステムで	Windows の [スタート] メニューを使用してログオフします。
メニューバーから	[Finder] メニューバーから [[デスクトップ]] - [[ログオフ]] を選択します。 この手順を使用すると、初めに、View デスクトップで開いているファイルが保存されずに閉じられます。

- View デスクトップに接続していない場合にログオフする。

この手順を使用すると、初めに、View デスクトップで開いているファイルが保存されずに閉じられます。

オプション	操作
サーバショートカットがあるホーム画面から	<p>a サーバショートカットをダブルクリックし、認証情報を入力します。</p> <p>認証情報には、RSA SecurID 認証情報やデスクトップにログインするための認証情報が含まれる場合があります。</p> <p>b デスクトップを選択し、[Finder] メニュー バーから [[デスクトップ]] - [[ログオフ]] を選択します。</p>
デスクトップショートカットがあるホーム画面から	デスクトップを選択し、[[デスクトップ]] - [[ログオフ]] を Finder メニュー バーで選択します。

# ホーム画面からの View サーバ ショート カットの削除

---

# 9

View サーバに接続すると、サーバのショートカットが View Client のホーム画面に保存されます。

View 接続サーバのショートカットを選択して、Delete キーを押すか、ホーム画面でショートカットをコントロールクリックまたは右クリックして、[削除]を選択して、ショートカットを削除できます。

サーバに接続した後に表示される View デスクトップのショートカットは削除できません。



## デスクトップのロールバック

---

ロールバックは、Windows PC またはノートパソコン上のローカル モードでの使用のためにチェックアウトした仮想デスクトップに行った変更を廃棄することになります。

View administrator がこの機能を利用でき、デスクトップがチェックアウトされている場合のみ、View デスクトップをロールバックできます。



**注意** ローカル モードのデスクトップが変更され、ロールバック前に変更が View サーバにレプリケートされない場合は、変更は失われます。

---

### 開始する前に

- Active Directory ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコードなどのログインに必要な認証情報を取得します。

### 手順

- 1 View Client のホーム画面に View 接続サーバのショートカットが表示されている場合、デスクトップにアクセスするサーバのショートカットをダブルクリックして、認証情報を入力します。
  - a RSA SecurID の認証情報または RADIUS の認証証明書の入力を求められた場合、ユーザー名とパスワードを入力して [ [続行] ] をクリックします。
  - b ログイン ダイアログ ボックスでユーザー名とパスワードを入力します。
- 2 View デスクトップのショートカットを表示している View Client のホーム画面で、デスクトップを選択して、[Finder] のメニュー バーから [デスクトップ] - [ロールバック] を選択します。

View デスクトップがロールバックされた後、Mac クライアントからログインできます。





## View Client のトラブルシューティング

View Client に関するほとんどの問題は、デスクトップのリセットまたは VMware View Client の再インストールで解決することができます。

この章では次のトピックについて説明します。

- [デスクトップのリセット \(P. 25\)](#)
- [View Client のアンインストール \(P. 26\)](#)

### デスクトップのリセット

リセット操作を実行すると、デスクトップがシャットダウンおよび再起動されます。保存されていないデータは失われます。デスクトップオペレーティングシステムが応答しなくなった場合、デスクトップのリセットが必要となる場合があります。

View デスクトップをリセットする操作は、物理的な PC を強制的に再起動するためにその PC のリセット ボタンを押す操作に相当します。View デスクトップで開いているすべてのファイルが、保存されずに閉じられることとなります。

デスクトップをリセットできるのは、View 管理者がこの機能を有効にしている場合のみです。

#### 手順

- ◆ [リセット] コマンドを使用します。

オプション	操作
デスクトップのオペレーティングシステムで	[Finder] メニューバーから [デスクトップ] - [リセット] を選択します。
サーバショートカットがあるホーム画面から	<p>a サーバショートカットをダブルクリックし、認証情報を入力します。</p> <p>認証情報には、RSA SecurID 認証情報やデスクトップにログインするための認証情報が含まれる場合があります。</p> <p>b デスクトップを選択し、[Finder] メニューバーから [デスクトップ] - [リセット] を選択します。</p>
デスクトップショートカットがあるホーム画面から	デスクトップを選択し、[Finder] メニューバーから [デスクトップ] - [リセット] を選択します。

View デスクトップのオペレーティングシステムが再起動されます。View Client がデスクトップから切断されます。

#### 次に進む前に

システムが再起動するのを待ってから、View デスクトップへの接続を試行します。

## View Client のアンインストール

View Client の問題を VMware View Client アプリケーションをアンインストールし、再インストールして解決できることがあります。

他のアプリケーションをアンインストールするのと同じ方法で、View Client をアンインストールします。

[VMware View Client] アプリケーションを [アプリケーション] フォルダから [ごみ箱] にドラッグし、ごみ箱を空にします。

アンインストールが完了すると、アプリケーションを再インストールできます。

# インデックス

## 記号

View 接続サーバのショートカット 21  
サーバ ショートカット 21

## C

Ctrl+Alt+Delete 19  
Ctrl+Alt+Del メニューコマンド/ソウシン 19

## D

Dock 7, 15

## V

View Client のアンインストール 26  
View Client  
    デスクトップから切断 19  
    トラブルシューティング 25  
View 接続サーバ  
    ショートカット 21  
    接続 5, 11  
View デスクトップ、ロールバック 23  
View デスクトップのロールバック 23

## お

オプション  
    画面レイアウト 5, 11  
    表示プロトコル 5, 11

## か

画面レイアウト 5, 11  
環境設定、デスクトップ 5, 11

## し

証明書、問題の無視 13

## せ

接続  
    View 接続サーバ 5, 11  
    デスクトップ 5, 11

## て

デスクトップ  
    リセット 25  
    ロールバック 23  
デスクトップ  
    接続 5, 11  
    表示オプション 5, 11  
    表示プロトコル 5, 11

desktop

    切り替え 17

    ログオフ 19

View デスクトップカラセツダン 19

デスクトップの切り替え 17

デスクトップのリセット 25

## と

ドメイン 5, 11

トラブルシューティング 25

## ひ

表示オプション、デスクトップ 5, 11

表示プロトコル、デスクトップ 5, 11

## ろ

ログイン、View 接続サーバ 5, 11

ログオフ 19

